

合唱

保延裕史

最初はメモリアル・イヤーを迎えた作曲家について。2015年、共に生誕150年のシベリウスとニルセンだったが、シベリウス初期の出世作「クッレルヴォ交響曲」が日本シベリウス協会によって演奏された（新田ユリ指揮、3月）以外、特筆すべき演奏が見当たらなかったのは残念であった。言語の壁があるとはいえ北欧の合唱作品はわが国の合唱団の有益なレパートリーになるはずであり、是非今後演奏の機会が増えることを願う。

次にプロ合唱団体の活動状況から特筆すべきものを挙げておく。東京混声合唱団は2016年創立60周年を迎える。数多くの委嘱作品初演など職業合唱団として常に日本の合唱界をリードしてきた。現在、桂冠指揮者田中信昭、音楽監督山田和樹、正指揮者松原千振、指揮者大谷研二をはじめとする充実した指揮者陣、幅広いレパートリーを支える団員、スタッフの努力の賜であろう。本年は東京、大阪での定期演奏会（3月・田中信昭指揮「半世紀の変遷」、10月・同「さまざまな合唱の美」、9月と12月・大谷研二・東混指揮者就任25周年記念・三善晃の作品）、特別演奏会「八月のまつり」（指揮、ピアノ・寺嶋陸也）の他、全国各地で特別演奏会、オーケストラとの協演も多かった。本年度委嘱作品は野平一郎「転調するラブソング」（大岡信・詩、3月）、三宅悠太「Rebirth」、鷹羽弘晃「あらべすく計画」（小倉百人一首による、共に12月）を初演した。一方、2009年創立のハルモニア・アンサンブルは本年度一般社団法人化を果たし、4回の演奏会（6月「Nコンをうたう」、8月＝第6回定期「音響空間としての合唱」、9月「相澤直人作品個展Vol. I」、12月・第3回クリスマス・コンサート）を行った。指揮者を置かない独自のスタイル、新進作曲家との連携など今後の発展を予感させる期待の合唱団といえよう。また、パッサ・コレギウム・ジャパン（合唱と管弦楽）は、J・S・バッハのカンタータ、モーツァルト「ミサ曲ハ短調」による定期演奏会、聖金曜日の「マタイ受難曲」、「平和への祈り」と題した創立25周年記念（広島）とサントリー音楽賞受賞記念（東京）での「ミサ曲ハ短調」、暮のヘンデル「メサイア」など充実した演奏を展開した。

来日合唱団では、恒例となったウィーン少年合唱団、シュトゥットガルト室内合唱団（F・ベルニウス指揮、5月）、タリヌスコラーズ（P・フィリップス指揮、6月）、スウェーデン放送合唱団（P・ダイクストラ指揮、10月）がそれぞれの個性を発揮した。

フェスティバル関係では、第20回を迎えたTokyoCantatで、オープニング・コンサート「紅白合唱戦」、海外招聘講師指揮指導によるクロージング・コンサートの他、「やまとうたの血脈VI～未来へ～」として全曲委嘱初演作品による演奏会が行われた。ここでは川島素晴、寺嶋陸也、鶴見幸代、新実徳英、鷹羽弘晃、梶場富美子、西村朗の新作が披露された。第36回草津夏期国際音楽アカデミー&フェスティバルでは「1815年、ウィーン、ピーターマイヤー時代」のテーマで、シューベルト「ミサ曲第6番変ホ長調」がA・ヴィット指揮草津アカデミー合唱団で演奏された。また、東京・春・音楽祭～東京のオペラの森「合唱の芸術シリーズVol.2」はペルリオーズ「レクイエム」

が大野和士指揮、東京オペラシンガーズ、東京都響で演奏された。

最後に合唱関連の注目すべき演奏会を月単位で挙げておく。

1月：ヴォーカル・アンサンブル・カベラ「15世紀ブルゴニュに響いたイングランドの音楽」、八王子クリンゲルコア・ブラームス「ドイツ・レクイエム」（飯森範親指揮東響他）

2月：三善晃先生追悼コンサート（桐朋学園大学音楽学部学生）、びわ湖ホール声楽アンサンブル東京公演・パッサ「ヨハネ受難曲」（M・ユング指揮他）、山田和樹マラー・ツィクルス、マラー／交響曲第2番「復活」、武満徹「うた」より、東京混声cho他、交響曲第3番、栗友会cho他

3月：ヴォクスマーナ第32回定期（西川竜太指揮）、すみだ平和祈念コンサート・モーツァルト「レクイエム」他（H・ヘンヒェン指揮新日本フィル、栗友会cho）、東京ニューシティ管、東京合唱協会・メンデルスゾーン／交響曲第2番「讃歌」（内藤彰指揮）、古楽アンサンブル・コントラポント「聖週間の合唱音楽」、都響・ベートーヴェン「ミサ・ソレムニス」（小泉和裕指揮、武蔵野音大室内cho、栗友会cho）、受難楽のタベ・ハイリッヒ・シュッツ合唱団東京（淡野太郎指揮）

4月：東京少年少女合唱隊定期（長谷川みず子、長谷川久恵指揮）、合唱団ノヴァ・ヴォーチェ・メンデルスゾーン「エアリス」（青木洋也指揮）、日本フィル・ブラームス／ドイツ・レクイエム（広上淳一指揮、パイオニアcho他）、東響・カンチェリ／ステクス～ヴィオラ、混声合唱と管弦楽のための～（飯森範親指揮、東響コーラス）

5月：大阪ハイリッヒ・シュッツ室内合唱団東京定期「千原英喜と宮澤賢治」（当間修一指揮）

6月：読響・マラー／交響曲第3番（Y・テミルカーノフ指揮、新国立劇場cho、NHK東京児童cho）、古楽アンサンブル・コントラポント・モンテヴェルディ／聖母マリアの夕べの祈り（花井哲郎指揮）

7月：紀尾井ホール、紀尾井シンフォニエッタ創立20周年記念・パッサ／ロ短調ミサ曲（T・ピノック指揮、紀尾井パッサコア他）、新日本フィル・マラー／交響曲第2番「復活」（D・ハーディング指揮、栗友会cho他）、ヴォクスマーナ第33回定期（西川竜太指揮）

9月：ラ・フォンテヴェルデ「モンテヴェルディ／マドリガーレ全曲演奏会」、東響・マラー／交響曲第3番（J・ノット指揮、東響コーラス、東京少年少女合唱隊）、英国ロイヤルオペラ特別演奏会・モーツァルト／レクイエム（A・パッパノー指揮他）、日本フィル・グノー／聖テチリア・ミサ曲（藤岡幸夫指揮、日本フィル協会cho他）、群馬響・オルフ／カルミナ・ブラーナ（大友直人指揮、群馬合唱団他）

10月：NHK響・マラー／交響曲第2番「復活」（P・ヤルヴィ指揮、東京音大cho他）、都響・シェーンベルク「地上の平和」、モーツァルト「レクイエム」（P・ダイクストラ指揮、スウェーデン放送cho他）、東京シティ・フィル・ブッチャーニ／グロリア・ミサ（三ツ橋敬子指揮、東京シティフィル・コア他）

11月：武蔵野合唱団創立60周年・三木稔「レクイエム」、高田三郎「水のいのち」（小林研一郎指揮）、ドレスデン聖十字架教会合唱団（R・クライデ指揮）

12月：ロシア国立モスクワ・アカデミー合唱団（N・アザーノフ指揮）、NHK響・マラー／交響曲第3番（C・デュトワ指揮、東京音大cho他）。